

令和4・5年度練馬区教育課題研究指定校 大泉北小学校のグランドデザイン

【経営目標】地域の宝である子供たちは、地球の未来を築く宝

夢や目標をもち困難を乗り越える力を備えた、笑顔で挑戦する子どもたちを育成する学校を創る。

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

【学校教育目標】社会変化に主体的に対応し、めあてに向かって意欲的に学び、考え、問題解決的に行動する、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性をもった児童を育成する。

豊かな人間性 心豊かな子ども
人を思いやり、豊かなコミュニケーションにより、
すすんで仲よく活動する

『挨拶・返事、目と耳と心で聴て、すすんで活動』
自分とともに他人を大切に作る態度の育成

健康・体力 健康で根気強い子ども
命を大事にし、健康な心と体をつくる

『自分の身は、自分で守る』
新しい時代の健康教育・安全教育の充実

資質・能力の育成

よく考える子ども・みんなと力を合わせる子ども
自分の考えをもち、挑戦意欲が高い

『言葉でつながる・人とつながる・心がつながる』
協働して 問題解決できる

「言葉の力」とは、
情報を正確に理解した上で相手の表現の意図や背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ、話し合っ解決する力

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・「言葉の力」を身に付け、自ら考え判断し行動する。
- ・豊かなコミュニケーション能力を身に付け、多様性を力とする。
- ・心身の健康へ関心をもち、すすんで体力の向上を図る。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・言語能力や情報活用能力を高め、創造的に問題解決できる。
- ・自己調整力を高め、自他を尊重し、学びを深めることができる。
- ・よりよい生活・学習習慣の確立し、学力及び体力の向上

児童の実態 (R2年度→R3年度肯定的な回答)

- ・自己有用感 59%→82% ↑
- ・自己肯定感 60%→70% ↑
- ・初めてのことへの挑戦意欲の差
- ・コロナ影響で挨拶が不十分
- ・読書への意欲 75%上昇 ↑
- ・タブレット端末活用に意欲的 91%

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ICT教育推進による個別最適な学びの充実
- 特別支援教育の推進 SC、SSW、こころのふれあい相談員、生活支援員等との連携体制の充実とあおぞら教室の効果的な活用 焦点化・視覚化・共有化を意識した授業

目指す子どもの姿

- ・生活・運動・学習習慣の定着を目指す
- ・探究心に溢れ、笑顔で挑戦する。
- ・元気にさわやかな挨拶ができる。
- ・読書により「言葉の力」を伸ばす。
- ・体験やICTを活用した学びにより、自己の生き方を考えることができる。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・各教科等における言語能力や情報活用能力の向上を柱に、問題解決的な思考力・判断力・表現力等を身に付ける。
- ・読書活動や体験活動を充実させ、夢や目標への課題意識をもつ。
- ・人権・道徳教育により思いやりや社会貢献への意識の醸成を図る。
- ・健康教育及びICT教育を充実させ、自立した生活・学習習慣を身に付ける

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・キャリア教育の視点を取り入れ、ねらいの明確な授業を工夫し、自己理解・自己管理能力、人間関係形成・社会形成能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を高める。
- ・計画的な読書や体験活動を通して、自己の生き方を考え、深める。
- ・「傾聴」を大切に、互いのよさを認め、自他を尊重する態度を身に付ける。
- ・健康や安全についての知識理解を深め「改訂大北小スタンダード」や体力カテ

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 【教職員連携】①自他を尊重し、一人一人に居場所のある学級経営 ②校内研究・校内研修の充実 ③指導体制の工夫
- 【地域を核とした連携】①保護者と協働したICT教育の推進及び学習習慣の確立②地域・社会を生かした体験活動の充実
- 【カリキュラム連携】①幼保小中の学びの系統性とキャリア教育の推進 ②教育資源の活用 ③教科横断的な指導の充実

安心・安全な学校づくり

【安全・安心な学校づくり】

- ・「自分の身は自分で守る」(時代に合わせた安全教育の推進)
- ・人権尊重教育を基盤とした言語環境の整備、校内美化
- ・健康教育の充実により生活習慣の確立と心身の健康の育成

開かれた学校づくり

【信頼される「未来の」学校づくり】

- ・積極的情報発信により学校経営方針及び重点内容の共有
- ・地域社会連携事業を強化し、多様な教育活動の精選と拡充
- ・いつでも自分から学べる学習環境整備と楽しい教育環境づくり